

いのちの言の葉2010

富山県教育委員会 平成 22 年度いのちの教育総合支援事業

「ぼくらのいのちをかがやかせよう」(総合的な学習の時間)

射水市立作道小学校 5 学年児童
平成 23 年 1 月 27 日実施

【いのちの先生】

太田 友恵 先生

・世界移植者スポーツ神戸大会
競泳競技 金メダリスト

【授業の概要】

- 1 「いのちの先生」の紹介
- 2 講演「いのちみつめて(もらったいのちをどう生きるか)」
- 3 感想記入

児童の感想 (5 学年児童)

太田さんが、「大事なものは『できる』『できない』ではなくて、何事にも進んで取り組むこと。失敗してもいい、失敗して成長していくのだ」と言われたのを聞いて、勇気をもらいました。

失敗したら、かっこ悪く思われるかもしれないけれど、心は成長していきます。私もいろいろなことに取り組んで、心を成長させたいなあと思いました。

児童の感想 (5 学年児童)

私は太田さんのお話を聞いて、いやなことでもしっかり続けていきたいと思いました。なぜなら、「やっておいてよかった」「続けていてよかった」と強く思える日がいつか来るかもしれないからです。何ごとにもやる時は真剣に取り組んでみようと思いました。

児童の感想 (5 学年児童)

いのちがあるということは当たり前のことではなく、すごく素晴らしいことで、それをさらに生かしている太田さんは、すごい人だと思いました。

そして、いのちをかがやかせるためには、どんなにつらいときでも、何回でも困難を乗り越えていくことが大切だと思いました。

児童の感想 (5 学年児童)

話をしておられる太田さんは、いつも笑顔でとても感じのよい人でした。いのちをかがやかせているということがすぐに分かりました。そして、世界移植者スポーツ大会の金メダルも見せてくださいました。

私も太田さんみたいに、いのちをかがやかせていきたいと思いました。